

# 「SDGs全国フォーラム 2024 沖縄」開会セレモニー

宮路外務副大臣御挨拶

2024年12月21日(土)、オンライン(ビデオメッセージ)

## 1. はじめに

- 外務副大臣の宮路拓馬です。
- 本日は、多くの方々の御参加の下で「SDGs 全国フォーラム 2024 沖縄」が開催されることをお慶び申し上げます。本フォーラムの実現に向けた、沖縄県を始めとする関係者の皆様の御尽力に心から敬意を表します。

## 2. 日本政府の取組

- 持続可能でより良い世界を目指す国際目標として SDGs が採択されてから9年目となります。この間、日本政府は、官民一体となって国内外において SDGs を推進してまいりました。
- 現在、国内の SDGs 認知度は約9割に達しています。その理念は、我が国がより良い持続可能な発展と繁栄を実現していく上での確固たる原動力となりつつあります。地方自治体、企業、NPO、ユース世代など、様々な分野の関係者が SDGs の推進に取り組んできた結果です。

## 3. 沖縄県の取組

- 地方における SDGs の幅広い浸透と推進は、我が国における大きな特色です。世界有数の海洋資源に恵まれた沖縄県は、「平和を求めて時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合い誰一人取り残さない、持続可能な『美ら島』おきなわの実現」を推進されてきました。

- 沖縄県は、2003年、2006年、そして2012年に太平洋・島サミットを開催し、持続可能な海洋の議論に先鞭せんべんをつけました。2005年には沖縄科学技術大学大学院・OISTオイストが設立され、世界の研究者がSDGsの推進に貢献されています。
- 沖縄県内の企業もSDGsの取組を進めています。沖縄電力は県内の離島に台風**かとうしき**に強い可倒式風力発電を提供し、世界の小島嶼国しょうとうしょこくがこの技術に高い関心を示しています。さらに、2019年にはサンゴと人に優しい持続可能な村づくりを目指した恩納村おんなそんが、2020年には自然と文化で創る未来を掲げた石垣市が、そして2021年には誰一人取り残さない持続可能な「沖縄らしさ」の実現を進めた沖縄県が「SDGs 未来都市」に選定されました。
- 同じく2021年には、沖縄島北部、西表島いりおもてじまがユネスコ自然遺産に登録され、生物多様性の宝庫として世界の生態系保全にも貢献しています。
- 沖縄県で開催される「SDGs 全国フォーラム」を通じ、沖縄発で、全国の地方自治体を含む多様なステークホルダーの連携が進み、各地の優れた取組が共有され、SDGs 達成へ向けた取組が促進されることを期待します。

#### 4. 締めくくり

- 最後に、SDGs の達成には、認知度の向上だけでなく、SDGs そのものに対する理解の浸透、そして、経済・社会の変革につながる社会実装を起こしていく必要があります。
- 多様性と包摂性<sup>ほうせつ</sup>のある社会を築き、また、我が国自身の持続可能な発展と繁栄、国際競争力の強化を実現していくことが必要です。政府としても、引き続き強い決意をもって、様々な分野の関係者と連携し、オール・ジャパンでSDGs 達成に向けた取組を強化し、加速していきます。ありがとうございました。